

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆GPIF、10～12月の運用収益16兆円 国内外の株高追い風

・世界最大級の年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は6日、2025年10～12月期の運用成績が16兆1878億円のプラスだったと発表した。国内外の株式相場の上昇が運用リターンを押し上げた。外国為替市場で円安が進行したことも外貨建て資産の評価改善につながった。25年末の運用資産額は293兆4276億円と過去最高更新。

◆2025年のエンゲル係数、44年ぶり高水準 12月実質消費支出は2.6%減少

・総務省が発表した2025年12月の家計調査によると、2人以上世帯の消費支出は35万1522円。物価変動の影響を除いた実質では前年同月比で2.6%減。減少は2カ月ぶり。菓子類など食料品が全体を押し下げた。消費支出に占める食費の割合を示すエンゲル係数は25年は44年ぶりの高水準となった。コメは9.6%減と2カ月連続で減少。

◆12月の景気動向指数、2カ月連続で低下 基調判断は「下げ止まり」維持

・内閣府が発表した2025年12月の景気動向指数(速報値)は足元の経済状況を示す一致指数(2020年=100)が114.5と前月比で0.4ポイント低下した。低下は2カ月連続。指数をもとに機械的に定める基調判断は「下げ止まりを示している」で維持した。3カ月移動平均は0.13ポイントの低下で、3カ月ぶりのマイナスとなった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆タカスタンダード、3Qは大幅増益で過去最高を更新

・タカスタンダードは2026年3月期第3四半期(2025年4～12月)の連結決算を発表。売上高は、1926億8600万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は161億4200万円(同25.4%増)と売上・利益ともに第3四半期として過去最高を更新。経常利益は166億6900万円(同25.9%増)、四半期純利益は127億800万円(同40.4%増)と利益面が大幅増加。

◆家電量販5社、1月全社増収 エアコンとPC好調で

・ヤマダホールディングスなど家電量販5社の1月の売上高(全店ベース)が出そろった。全社が前年同月に比べて増収となった。気温が下がり、エアコンの販売が伸びた。東京都の省エネ家電の補助制度が下支えした。メモリー半導体の高騰により値上げが続くパソコンに駆け込み需要が出た。エアコンは49.8%増、PC・情報機器は22.9%増だった。

◆TOTO、TOTOサニテクノ小倉工場で衛生陶器製造における水素混焼を開始

・TOTOサニテクノ小倉工場での衛生陶器の焼成工程において、CO2を排出しない「グリーン水素」と従来の都市ガスを混ぜて焼成する、水素混焼での生産を開始。グリーン水素による混焼技術の確立に成功したことを受け、水素混焼率体積比約20%で実際の商品を生産する窯での水素混焼を開始。年間140トン(7%相当)のCO2排出を削減。

《 注目商品 》

■TOTO、浴室床・天井・壁の黒カビやピンク汚れを防ぐ新機能

・システムバスルームのオプションに、ボタンひとつで床の洗浄と天井・壁まわりの黒カビ・ピンク汚れの発生を抑制する「浴室クリアキープ(きれい除菌水)」をラインアップ。床以外の部位のきれいも保つ機能。



■ジャニス工業、洗面器のパターンオーダーを開始

・洗面器・手洗器のパターンオーダーの新ブランド「irodori(いろどり)」を開始。サイズは対応範囲内であれば自由に指定することができ、色は基本色ホワイトに加え、10種類の受注色、特注色も可能。小ロット国内生産による在庫リスク削減を実現。



■電動工具ブランド「HiKOKI」から36Vコードレスセーバソー「CR 36DSA」

・36Vコードレスセーバソーの新製品CR 36DSAを販売開始。低振動・高耐久で解体作業に適したコードレスセーバソー。電池の防振構造とギヤ耐久性向上のための新構造を採用したことにより、高耐久と低振動を両立し快適な作業の提供が実現。

